

伊勢崎 VYS

## 新型コロナウイルス対応ガイドライン

### 1 本ガイドラインの趣旨について

本ガイドラインは、当団体の活動を行う上で必要と考えられる対策の要件を例示したものです。策定にあたっては各種団体が策定したガイドラインを参考にしました。

当団体の多岐にわたるため、一律に対応できるわけではありません。本ガイドラインはあくまでも対応のベースとなることを想定しており、個々の対応についてはその行事でのさまざまな場面を想定しながら、適切に行っていただきたいと考えております。

なお、本ガイドラインは、最新の新型コロナウイルスの予防に係る専門家の知見、国による新たな基準の公表や変更、自治体の要請等の変更を踏まえて、必要に応じて見直すこととします。

### 2 感染防止のための基本的な考え方

#### (1) 総論

○感染防止の3つの基本である①ソーシャルディスタンス（最低1m、可能なら2m以上）の確保、②マスクの着用、③手洗いの実施を中心とした感染防止対策を行います。行事中だけでなく移動中の感染防止にも取り組みます。

○感染リスクの高い3つの密、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人々が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件を避けるための対策をできる限り講じます。（部屋の換気、対人距離の確保、活動内容の精選など）

### 3 活動準備にあたって

#### (1) 事業を企画するにあたって

○今後当面の間、参加者同士のソーシャルディスタンス（最低1m、可能なら2m以上）を確保できるように配慮した人数を上限の目安とします。

○屋外活動プログラムは感染防止に配慮した上で、従来通り実施いたします。

○屋内活動プログラムは感染予防に最大限配慮した上で実施いたします。内容や人数によっては従前の活動内容を変更する場合がございます。

○対策に必要な物品（予備のマスク、手指消毒用アルコール、消毒用次亜塩素酸ナトリウムなど）を適宜用意いたします。

○感染予防に対する方法をスタッフに伝達し、周知させます。

## (2) 参加者募集にあたって

○参加者募集チラシ等に以下の内容を明記します。

・参加者およびその家族に過去2週間以内に発熱(37.5°C以上、または平熱より1°C以上高い)や咳、だるさ(倦怠感)、頭痛、腹痛(下痢)、体調不良等の諸症状がある場合、活動への自粛をお願いいたします。

・参加者およびその家族に過去2週間以内に入管法に基づく「入国制限対象地域」への渡航・滞在歴がある方、またはそのような方との濃厚接触がある場合、活動への自粛をお願いいたします。

・参加者は活動当日に自宅で検温し、熱がある(37.5°C以上、または平熱より1°C高い、咳、その他症状がある)場合参加への自粛をお願いいたします。

・参加者はマスク着用で活動での参加をお願いいたします。持ち物として、予備のマスク、清潔なタオルまたはハンカチの持参をお願いいたします。

## 4 活動当日の対応

### (1) 集合時

○スタッフ全員に感染予防対策を周知します。

○感染症対策のための準備をします。

(受付等に手指消毒用のアルコールを配置、活動に使う物品の消毒、机・椅子等をできるだけ離れて座ることができるよう配置する等。)

○屋内で活動する場合、原則窓等を開放し、常に換気を行います。

### (2) 受付

○参加者のマスク着用を確認し、手指消毒をしてもらいます。

○参加者の体調について確認し、健康調査カードの記入をお願いいたします。(体温を測ってこなかった参加者の体温を測らせてもらいます。)

○受付後の子どもたちの動きに留意し、三密となりそうな場合、必要な指導を行います。

### (3) 活動スタート

○オリエンテーションで以下のことを伝えます。

・マスクを着用し、咳エチケット等のマナーを守る。

・体調が悪くなった場合、速やかにスタッフに伝える。

○体を動かすプログラムの場合、マスクの着用は必須ではないが、十分なソーシャルディスタンスを保つよう指導していきます。

○共用する物品について、適宜消毒を行います。

○窓等を閉めている場合、活動場所の定期的な換気(一時間に10分程度)を行います。

○活動中に体調不良者が出た場合、速やかに保護者様に連絡をさせていただきますので、医療機関への受診をお願いいたします。その際、新型コロナウイルス感染症が疑われるという診断がされた場合、当団体へのご連絡をお願いいたします。また、保健所へご連絡は保護者様からお願いいたします。

○飲食に伴う活動について

・調理・取り分け担当を固定化し、取り皿の共有を行わないなど、感染症対策を徹底いたします。

・食事の際は、使用前の箸、トング、おたま等で個別に取り分けるなどの対策を徹底いたします。

(4) 活動終了時

○参加者の体調を確認するとともに、実施日以降 14 日の間に発熱や咳、だるさ（倦怠感）、頭痛、腹痛（下痢）、体調不良等があった場合、速やかに当団体へ連絡するように伝えます。

○撤収時に、机・イス・スイッチ・ドアノブなど参加者・スタッフが触れたところを中心に、消毒します。

## 5 行事参加者から感染者が出た場合の対応

○行事参加者から感染者が出た場合、保健所の指示に従い、適切な対応を行います。